

●テーマ1 海にくらす

■海の大きな生き物たち

重力から解放される海には、陸上には存在しないような形や大きさの生き物がくらすことができます。今生きているクジラはもちろん、クビナガリュウや巨大カメ・アルケロンなど、絶滅した生き物にも巨大なモンスターがいました。



大きな海のモンスターたち。
クビナガリュウ、シファクティマス、タカアシガニ

■海の色々な食べ方

小さな生き物が大きな生き物を食べ、それをさらに大きな生き物が食べる。そうして、生き物同士はつながっています。海では、私たちと同様にあごでかぶりついて食べる方法もあれば、水ごと吸い込んで食べる方法もあります。



イワシクジラ頭骨：イワシクジラは歯をもたず、上あごにある「ヒゲ板」をつかって魚やプランクトンなど小さなえさを水ごと大量に吸い取り、こしとって食べます。会場では、クロミンククジラのヒゲ板にさわられる展示も。



化石研究会 公開講演会
恐竜時代の海のモンスター

- 日時：10/29(土) 13:00~15:40
- 場所：自然史博物館 講堂
- 内容：特別展に出展されているクビナガリュウとカメの化石の研究者を招き、研究の最前線を紹介。講師は佐藤たまき氏(東京学芸大学)、平山廉氏(早稲田大学)。
- 参加費：無料 (ただし、博物館入館料が必要)

ミニワークショップ
「海のモンスターみっけ!」

- 日時：9/24(土)・25(日)・10/8(土)・9(日) いずれも10:45~11:30、13:00~15:00
- 場所：自然史博物館 本館2階第3展示室
- 内容：海の中には想像もつかない面白いモンスターたちがいっぱいです。展示室にいるお気に入りのモンスターを見つけましょう。
- 対象：小中学生
- 参加費：無料 (ただし、高校生以上が付き添い参加の場合は、博物館入館料が必要)
- 受付：15~30分おき

●テーマ2 6億年 海のニュース

OCEAN'S NEWS
海のニュース

魚のいない海

魚が海に登場する前、その主役はオウムガイや三葉虫など無脊椎動物でした。私たちヒトにつながる脊椎動物は、まだ「あご」のない小さな生き物で、ウミサソリなどのえさとなっていました。



復元画(ウミサソリ)

爬虫類、海へ

今から約2億5000万年前のペルム紀末、海の生き物の90%以上が絶滅するという事件がおきます。その後、海の主役となったのは陸上から進出した爬虫類たちです。現在、海に生きる爬虫類はウミガメなどでそう多くはありませんが、陸で恐竜たちが繁栄していた中生代、今では想像もつかないほど大型で種類もさまざまな爬虫類が海を支配していました。



ステノプテリギウス(魚竜)。海生爬虫類でもっとも水中生活に適応し、長期間繁栄したグループでその外形はイルカやマグロに類似しています。また、この標本のおなかには、赤ちゃんがみられ、魚竜は卵を産むのではなく、赤ちゃんの形で子どもを産む胎生と考える証拠となっています。

哺乳類、海へ

中生代末の6550万年前、再び大絶滅が起こり、大型爬虫類は絶滅します。そのあいた場所に進出したのは海に適応した哺乳類でした。



バキトウス。長いしっぽ、陸を歩く脚、足先はひづめ。見たところはクジラには見えませんが、現在のクジラ類の直接的祖先であると考えられています。

魚の登場

脊椎動物の中に、あごをもつ生き物があらわれ、繁栄しはじめます。魚類の登場です。魚類はあごをもつことにより、食べられる側から食べる側になり、その後、多様化し、大繁栄をとげます。



ダンクルオステウス頭骨。最初にあごを持った魚類のひとつと考えられている板皮類のなかま。歯はありませんが、あごの骨がとがって歯のような役割をたどると考えられています。

◆ 学芸員のおススメコレクション ◆

大阪市立東洋陶磁美術館 国宝「飛青磁花生」(元時代・14世紀、龍泉窯)

日本に現在8件ある中国陶磁の国宝の一つで、国宝「油滴天目茶碗」とともに当館の安宅コレクションの国宝作品の双壁をなしています。元時代、中国浙江省の龍泉窯の製品で、鉄斑文の装飾のあるこうした青磁を日本では「飛青磁」と呼び珍重してきました。器形の完璧さ、釉色の美しさ、鉄斑文の絶妙な配置など世に知られている「飛青磁」の中で最も完璧な作品といえます。大阪の豪商・鴻池家に伝わったもので、大阪が世界に誇るお宝といえます。

(大阪市立東洋陶磁美術館主任学芸員 小林仁)

※ なお、今回ご紹介した作品は国際交流企画展(P.10参照)開催期間中の平常展において特別出品いたします。日本初公開の龍泉窯の最新発掘成果とともに、当館所蔵の国宝の美をお楽しみいただければと思います。

大阪市立東洋陶磁美術館 [所在地] 〒530-0005 大阪市北区中之島1-1-26 (大阪市中央公会堂東側)
TEL 06-6223-0055 FAX 06-6223-0057 アクセス 京阪中之島線「なにわ橋」駅下車すぐ、地下鉄・京阪本線「淀屋橋」1番出口 [ホームページ] <http://www.moco.or.jp>



国宝・飛青磁花生